

知ろうAMR、考えようあなたのクスリ 第2弾

インフォグラフィックで知る薬剤耐性(AMR)Vol.2 「薬剤耐性の脅威とは？」を10月20日(金)より公開

<http://amr.ncgm.go.jp/infographics/>

国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、国際的に脅威となっている薬剤耐性(AMR)対策の普及啓発活動の一環として、国民の皆様によりわかりやすく理解を深めていただくために、インフォグラフィックによる「知ろうAMR、考えようあなたのクスリ 第2弾“薬剤耐性の脅威とは？”」(<http://amr.ncgm.go.jp/infographics/>)を10月20日(金)より公開いたします。

インフォグラフィックで知る！薬剤耐性 (AMR) vol.02

2017年10月作成

知ろうAMR、考えようあなたのクスリ

薬剤耐性の脅威とは？

Antimicrobial Resistance: AMR

薬剤耐性(AMR)とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなる問題です。このまま対策を行わないと、2050年には1,000万人(3秒に1人※)の死亡が想定され、現在のがんによる死亡者数を上回ることが指摘されています。

※英国薬剤耐性に関するレビュー委員会(オニール委員会)第一次報告(2014年12月)

今回は、そんな「薬剤耐性の脅威」をテーマに、より理解が深まるよう、「薬剤耐性が原因での年間死亡者数」や「薬剤耐性及びその他の主な死亡原因」「発症と感染」についてインフォグラフィックにまとめました。

<http://amr.ncgm.go.jp/infographics/>

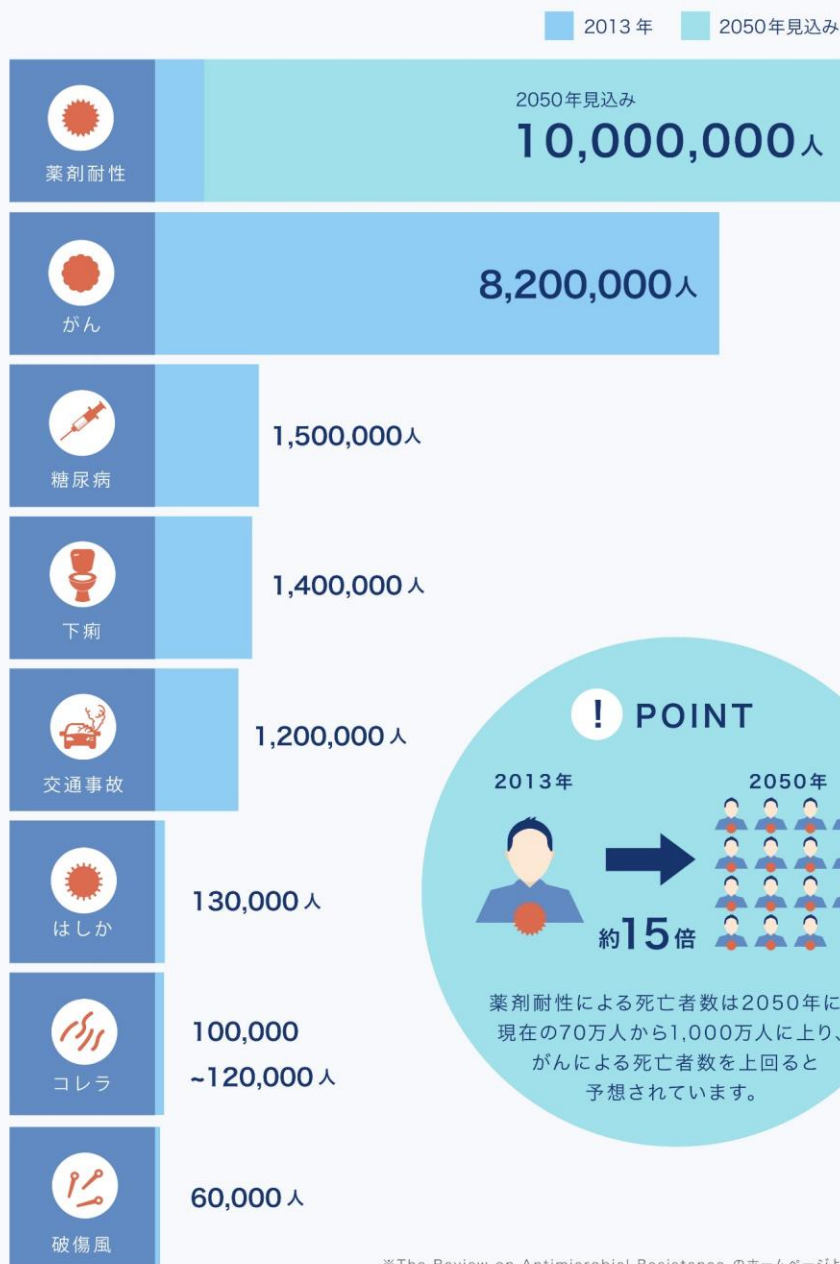
＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

薬剤耐性が原因の死亡者数は約30年後には15倍に拡大、年間1000万人を超えると予想

薬剤耐性が原因の死亡者数

1年あたりの薬剤耐性とその他主な死亡原因



※The Review on Antimicrobial Resistance のホームページより引用

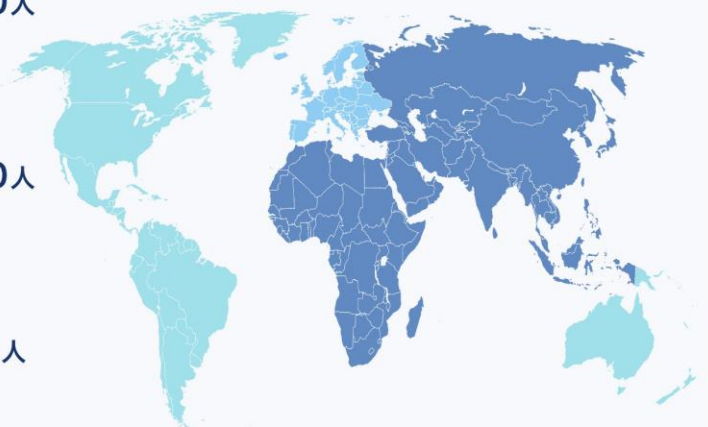
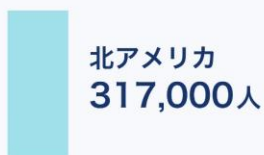
<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

世界の薬剤耐性による死亡者数予想とは？

世界の薬剤耐性による死亡者数

2050年に予想される1年あたりの薬剤耐性による死亡者数



2050年に予想される死亡者数1,000万人のうち、アジアでの死亡者数が全体の5割を占めています。

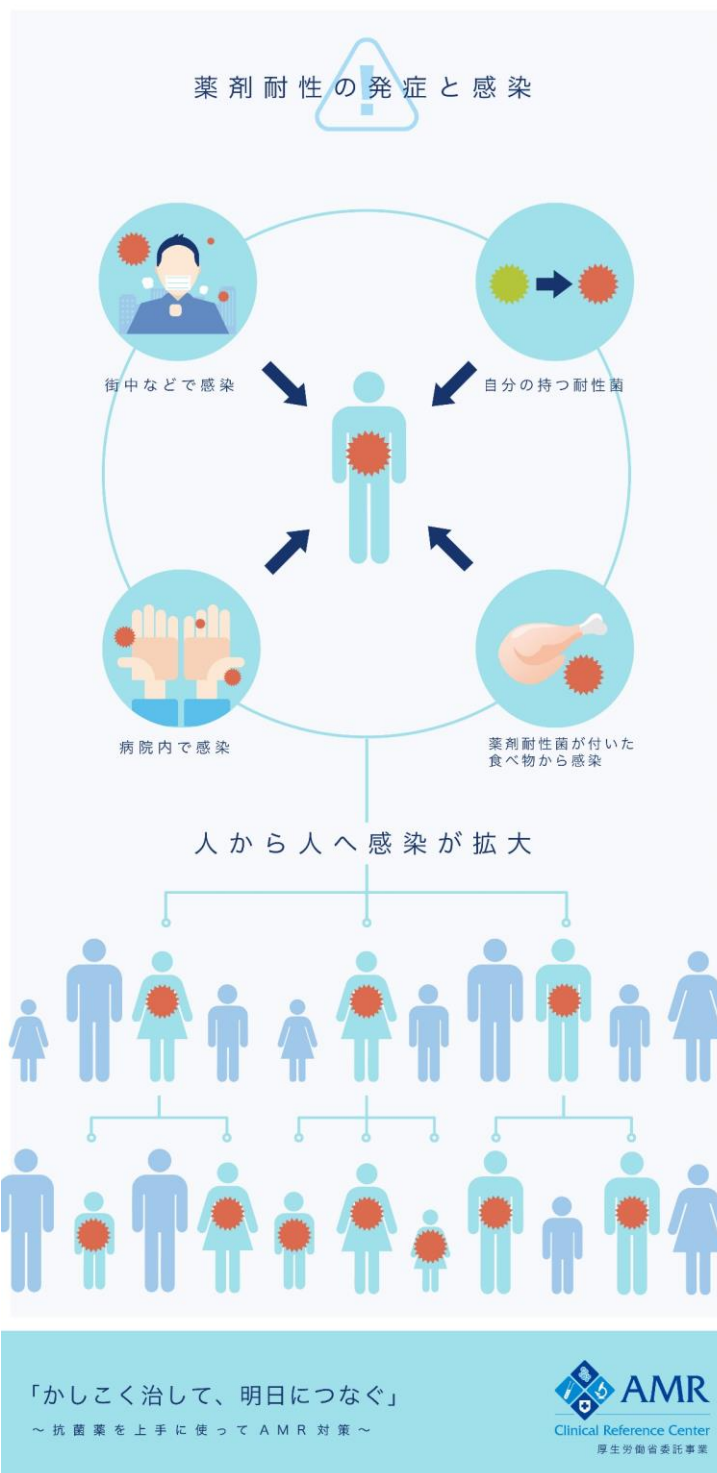
※The Review on Antimicrobial Resistance のホームページより引用

2050年には日本を含むアジア圏での死亡者数が全体の約5割を占めると予想されています。わが国がアジアのリーダーシップをとり、国際的視野で多分野と協働し、国際協力を図りながら薬剤耐性(AMR)の発生を遅らせ、拡大を防ぐAMR対策を推進させていきます。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

薬剤耐性の発症と感染のメカニズム



薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐためにも、発症と感染のメカニズムを正しく知り、抗菌薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示を守って、適切な量を適切な期間、服用しましょう。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp